

## ■当行の概要（単体）（2018年9月30日現在）

設立：1941年7月1日

本店：島根県松江市魚町10番地

資本金：207億円 主要勘定：総資産5兆3,809億円 預金3兆9,417億円 貸出金3兆363億円

拠点数：（国内本支店）80 （出張所）49 （代理店）20 （国内事務所-東京-）1  
（海外事務所-大連、上海、バンコク-）3

## 伴走型支援での取り組み

多数の支店、担当行員が参画し、事務局の協力を得ながら取引先の知財評価を実施。今回の取り組みを機に「行内での知財評価に関する今後の広がり」が期待できる。

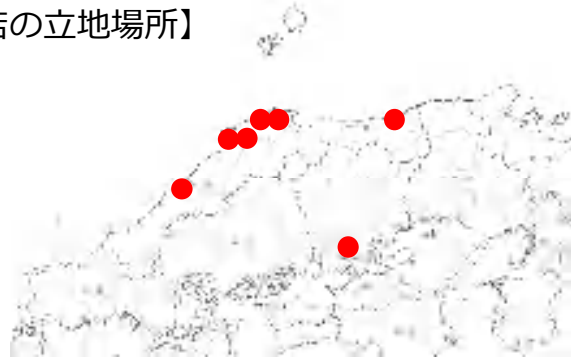
- 取引先の知財を行員がより理解することを目的に、伴走型支援に取り組み、研修及び知財シート（※）の作成を行った。

※取引先の知財についてヒアリングを実施するにあたって、要点を整理し事務局からもコメントをもらい完成させたシート。

- 伴走型支援に取り組む支店が広域にわたるため、研修はテレビ会議システムを活用。事務局担当研究員に講師を務めていただき、知財を切り口とした事業性評価の重要性、知財シートの作成をサポートするツールの説明（J-Platpat情報の活用など）を実施したことで、内容の濃い知財シートの完成に至った。

- 7支店（対象企業数13社）が伴走型支援に取り組んだことで、今後、行内全体に展開する際のノウハウが蓄積できたほか、かかわった行員を通じて、取引先の知財分析の重要性について、理解が広がっていくことが期待できる。

### 【7支店の立地場所】



## 取り組みによる成果

評価対象企業の新たなニーズ、課題等のヒアリングが出来たことで、ビジネスマッチング等による解決策の提案を目指す。

- 通常の企業訪問、営業活動において把握出来ていなかった取引先の新たなニーズを掘り起こすことができ、今後の付加価値向上に繋がる事例が創出できた。
- 評価対象企業の中には、今後、弊行主催のマッチングイベントに参加いただく先もある。担当行員が取引先の知財に関する理解を深めたことで、確度の高い商談セッティング及び、今まで以上の成果が期待できる。
- 評価対象企業のうち、3社は「知財ビジネス評価書」を作成（現在、作成中）することで、知財に関するより深い分析ができ、具体的な本業支援に繋がる提案をすることを見込んでいる。

### 【企業訪問による成果（例）】

- ✓ 特許をテーマにしたことで、開発担当役員と、初めて話をする事ができた。
  - ✓ 特許を話題にしたことで、技術的観点から他社製品との違い（性能、混合能力、販売価格、設計、生産方法等）が理解できた。
- ↓
- ✓ 特許のライセンスの可能性、製造原価ではなく、利用価値に見合う販売価格設定など、従来の企業訪問では全く話題に上らなかったテーマについて、意見交換できた。
  - ✓ 今後の提案に繋がる「ヒント」が得られた。